

電機連合 奈良地協ニュース

発行：2012年11月9日

No. 140

発行所：電機連合奈良地方協議会

Tel. 0743-56-9210

発行責任者：阪田 聖司

編集責任者：小谷 久己

美しい地球・幸せな暮らし

第25回定期大会報告

電機連合奈良地方協議会 第25回定期大会が2012年9月12日(水)にホテル日航奈良で開催された。冒頭、電機連合奈良地方協議会 阪田議長あいさつの後、電機連合本部から有野 正治(ありの しょうじ)中央執行委員長を、電機連合奈良地方協議会から連合奈良に送り出している小山 淳二(こやま じゅんじ)連合奈良会長を来賓としてお招きし、定期大会開催について祝辞をいただいた。組織内議員である西川 けんじ大和郡山市議会議員、林 ひろふみ大和郡山市議会議員、岡田 こうじ桜井市議会議員、および奈良県で産業政策参与としてご活躍されている志賀 通孝(しが みちたか)相談役それぞれから活動報告を受けた。

今大会に提案された報告事項および審議事項はすべて原案どおり承認・可決され、電機連合奈良地方協議会の2012年度が始まった。

より良い社会と人々の絆づくりの労働運動を



あいさつをする阪田議長

【阪田議長あいさつ要旨】電機産業の経営状況は二極化している。重電分野と弱電分野で明暗が分かれた。電機連合奈良地方協議会の構成組織は弱電を中心とする企業活動ばかりであり、それぞれの組織が非常に厳しい局面を迎えている。これからの時代は、弱電分野の中でも重点をどこに置くかが細分化しており、各企業としても生き残りを

かけた大胆な事業構造改革を打ち出し実行している。

厳しい環境の中、組合員の仕事・生活・政治に対する不安は増大するばかりである。このような時だからこそ、労働組合は「経営のチェック＆フォロー」の役割をしっかりと果たさなければならない。現場の声を経営陣に届け、経営陣はその上で自社の強み・弱みを認識し選択と集中を図らねばならない。労使の両輪を回すことにより現場で働く組合員が、地に足をつけて前進するエネルギーになって行くと思う。

政策制度の取り組みについては、連合奈良を通じて奈良県に提言を行なっている。電機連合としては新エネルギーと環境への

取り組み、ものづくり教育の強化を訴えて来た。国レベルの産業政策としてはグローバル競争に挑める体制づくりが必要である。これからの成長エンジンとなりうる環境・エネルギー、福祉・医療などの分野も重要となる。国の政策に声を届けるためには我々組合員の代表を各級議会に送り届け、しっかりと活動をしてもらうことが重要であり、来るべき第23回参議院議員選挙には比例区に電機連合組織内公認候補で新人の「石上としお」氏を擁立しており、色々と工夫をしながら支援の輪を広げる活動に取り組んで行く。より幸せを感じられる社会の構築を目指し、政策制度を考えていきたいと思う。

よりよい社会を作るために労働運動が諸先輩方から連綿と受け継がれ、人と人との絆づくりにも役立ってきた。我々自身がその価値を改めて認識し、活動を更に発展させ次の世代に引き継ぎ包容力のある社会を作るため共に頑張っていきたい。

第25回定期大会付議事項

報告・確認事項

2011年度一般経過報告及び活動報告に関する件

2011年度会計決算報告及び監査報告に関する件

議事

第1号議案 2012年度・2013年度運動方針に関する件

第2号議案 2012年度予算に関する件

第3号議案 2012年度・2013年度役員体制に関する件

いし がみ

石上 としおさん

を応援しよう!

▼公式サイトはこちら



POWER
to
JAPAN

明日の日本へ活力を!

<http://いしがみとしお.com/>

Facebook 石上としお
twitter toshio_ishigami
もご購下さい!

有野中央執行委員長あいさつ（要旨）



あいさつをする有野委員長

電機連合本部から有野 正治（ありの しょうじ）中央執行委員長をお招きして定期大会開催への祝辞をお受けした。

職場活動点検を

電機連合奈良地方協議会の様々な活動に対して、電機連合本部を代表して御礼を申し上げる。

まずは電機産業を再生の路線に乗せることが重要である。構造改革の遅れにより、デジタル家電や半導体関連が厳しい状況になっている。奈良地協の多くを占めるシャープでは非常に厳しい経営再建策が打ち出されている。シャープ労組は中闘組合であるので、春闘で決めたものを覆すことは電機連合の組織としては難しい判断があるが、個人的にはシャープ労組の決断を最優先にしたいと考えている。この先の春闘体制についてもそれを考慮した体制にしなければならない。まずは再建、大変に苦しい思いをするであろうが何としても耐え切っていただきたい。そのことが電機産業全体にも大きく影響する。目先の対応の他に、電機産業全体としてはまだまだ成長分野は多い。国が掲げる政策も電機連合の定期大会で確認された方針と合致している。国として電機産業に投資をして、再生につなげるべく政策制度要求に取り組んでいく。電機産業の裾野は広い。この産業が廃れば日本全体が荒

廃する。デフレから脱却し雇用の安定を図る。

当面する国政選挙への対応。民主党が割れたことについては野田総理も真摯に反省をして欲しい。マニフェストについても、説明責任を果たすことが大切である。民主党としてあるべき姿を訴え、立て直す必要がある。組合員にも再建策を示す必要がある。次回の選挙は相当に厳しいものになると考えている。マスメディアでは維新の会を期待感だけで持ち上げ、国民を煽っているように思われる。世論は相当マスコミに流されるのではないか。本当に必要な政治とは何かを考えなければならず、冷静な判断が必要である。しかし、どのような状況にあろうとも組織内候補については、何としても必勝せねばならない。参議院議員選挙前に衆議院議員選挙が施行されると「石上としお」の名前がかすむのではないかと心配している。「石上としお」の進退については、電機連合の組織力そのものが問われている。「加藤としゆき」は60万組合員で12万票の得票であった。日々の労働運動が伝わっていない結果ではないかと捉え、反省し、職場に根を下ろした活動をお願いしている。労働組合自体が信頼される組織になっていることが必要である。日々の活動が職場に認められて初めて支援が得られる。秋季組織強化期間、労組活動が職場からどう捉えられているか、しっかり点検をして欲しい。組合員と向かい合って、対話を行うことが大切である。一方で早期退職や合理化などの話があり、職場では違和感があると言われるかもしれないが、そうならない国を作るためにも日々、政策制度に取り組むことが必要である。

地協の課題も組織拡大、非正規の組織化など色々あるが、電機連合本部としてこれら大きな2つの課題を乗り越えて行かなければならないと考えている。

おかげさまで
25
周年
ANNIVERSARY

自助努力のお手伝い
電機連合
ねんきん共済
悠々プラン
拠出型企業年金保険(生保)
新団体年金共済(全労済)

特長

- スケールメリットを生かした制度
- 豊富な年金受け取りコース
- 安心な積立制度
- 税負担の軽減効果
- 便利な積立方法

たのしい暮らしと
充実のセカンドライフに向けて

● お問い合わせは

電機連合
福祉共済センター
0120-10-6911

電機連合

けんこう共済

おかげさまで
25
周年
ANNIVERSARY



電機連合
10万人を超える
皆様のご加入で

最大
損害保険料
70.8%[※]割引

※団体割引30%、損害率による割引158.4%
(所得補償保険に適用)

掛金が割安にも
がかわらず、
幅広く手厚い補償

制度
改定

- 掛金の一部引下げ実施
- Aタイプの補償充実
- 継続加入年齢の延長
- 健康告知条件の緩和

- 自宅療養でも給付(休業補償)
- ガンに手厚い補償
- 入院は初日から
365日分までの支払い
- 日常生活やレジャーにも
安心な特約

● お問い合わせは

電機連合
福祉共済センター
0120-04-6488